

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

1 事業の成果

10 余年にわたって被団協資料整理の拠点となってきた愛宕事務所が再開発のため閉室となり、同所の資料を南浦和資料室、借上げ倉庫の他、東京都生協連会館に移転。都生協連ロビーでは一部資料の常設展示を開始しました。4 年度に開催した国連原爆展を「NO MORE HIROSHIMA & NAGASAKI MUSEUM」（日・英語版）としてネット上に開設、国内外から 9 万件のアクセスがありました。さらに、このサイトを利用した被爆証言や学習イベント、さらに電子化した当会所蔵資料の公開など、オンライン活動の強化を企画、準備、より多くの人びとがアクセスし、集い、世界に向かって発信する事業をすすめています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5362】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
原爆被害の実相・原爆体験・原爆被害者運動などの記録・資料の調査、収集、整理、保管事業	収集資料や寄贈図書の整理を定期的に行っています。 被爆者運動に関する不定形資料の整理・保管・目録作成・電子化を進めています。 愛宕事務所の再開発による取り壊しによる引越しに備え、未整理資料の整理・目録作成を集中的に進めもんじょ箱 306 箱約 7600 点の目録を整理。併せて被爆者運動に関する不定形資料（もんじょ箱 2 箱余り）の電子化を進めました。愛宕の資料は南浦和資料室と借上げ倉庫、さらに東京都生協連会館に収納し、整理作業を続けています。同時に、同所ロビーでの資料展示閲覧コーナー開設を準備しました。	2023/4/1 ～ 2024/3/31 83 日	南浦和資料室、 愛宕事務所、 東京都生協連会館	運動資料・写真・書籍の整理、 延べ 101 名	一般市民、被爆者、学生・院生、研究者、報道関係者	不特定多数	1,570
原爆関連資料の収集、保管に取り組む諸団体との共同ネットワークの構築事業	昨年度開催した国連原爆展を日本被団協と協力しオンライン・ミュージアムとして全世界公開を準備。発信のため平和のための博物館国際ネットワークと協力しました。	2023/4/1 ～ 2023/8/15	四谷事務所、オンライン	9 名	一般市民、被爆者、学生・院生、研究者	不特定多数	240

	本会の被団協資料の整理に携わり、その史料を用いた研究活動が続ける昭和女子大学「戦後史料プロジェクト」が今年度も秋桜祭展示を行うとともに、全史料協大会で被爆者運動史料の整理・保存・活用を図る取組みについて報告しました。 長崎の被爆者運動史料を整理している研究者グループと資料をめぐって交流。当会所蔵の史料について、報道機関、関係者からの取材、閲覧、学生・院生からの聴き取りも相次ぎ、研究成果も寄せられています。	2023/6/11 ～ 2024/3/31	昭和女子大学、専修大学、南浦和資料室、愛宕事務所	延べ 31 名	被爆者、学生・院生、研究者	不特定多数	
原爆被害者運動関係の調査・研究事業							0
原爆資料の活用・普及及び若い人々へ活動参加を促す企画・イベント・情報提供などの啓発・出版事業	平和のための博物館国際ネットワーク（INMP）が 8/14～16、スウェーデンのウプサラ大学で開催した「第 11 回国際平和博物館会議」に参加。8/15 のセッション「平和構築のための教育―世界の事例から」にエントリース、” NO MORE HIROSHIMA & NAGASAKI MUSEUM” サイトの使い方を紹介、活用を呼び掛けるプレゼンテーションを行いました。 9 月 8 日、” NO MORE HIROSHIMA & NAGASAKI MUSEUM” 公開記念オンラインイベントを開催。ミュージアム公開の経緯や思い、今後の展開などについて、被団協やニューヨーク在住の制作協力者とのトーク、さらに活用する立場からピースボートの方からもお話頂き、広く交流の場を持ちました。 今期「未来につなぐ被爆者の記憶プロジェクト」は夏休み親子企画が参加申し込みが少なく中止となりました。 横浜国立大学長谷川健治准教授及び「被爆者証言翻訳を通じて学ぶ核問題」受講生（202	2023/6/1 ～ 2023/8/15	オンライン開催	6 名	世界の平和博物館関係者、世界の一般市民	不特定多数	
		2023/9/8	オンライン開催	15 名	平和教育や原爆被害に関心を持つ市民や NGO など	70 名	516
		随時	オンラインで随時打ち合わせを実施。	6 名	一般市民、被爆者、学生、研究者	不特定多数	

	3年秋学期)のご協力によって「全国証言マップ」掲載の体験記12名を英訳。全国証言マップでの公開を進めています。						
恒久的な公共機関「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産平和資料館」の設立に関する事業	国連原爆展をWeb化したオンライン・ミュージアム”NO MORE HIROSHIMA & NAGASAKI MUSEUM”(日英2ヶ国語版)を制作し、全世界に向けて公開・発信しています。年度内9万アクセス以上。 デジタル・アーカイブスの構築に向け、電子化した資料から、先ず各都道府県の被爆者団体が作成した証言集のうち許諾が得られた冊子類を公開すべく、個人情報等のマスキング作業案を立てつつ、サイトの企画デザインを進めています。	2023/6/1 ～ 2023/8/6 2023/8/15 ～ 2024/3/31	四谷事務所、オンライン開催 四谷事務所、南浦和資料室、オンライン	8名 延べ30名	世界の一般市民、被爆者、学生・院生、研究者 世界の一般市民、被爆者、学生・院生、研究者	不特定多数 不特定多数	2,614
	今年度作成、公開したオンライン・ミュージアム”NO MORE HIROSHIMA & NAGASAKI MUSEUM”とデジタル・アーカイブス、それぞれの機能を連携させ、より広範な人びとが当会の所蔵資料を活用し集えるネット上の場の構築を構想しました。そのため当会Webサイトの改訂、今までの会員、賛助会員、賛助団体よりさらに幅広く集い、双方向に交流できる場作りの軸としてメールマガジンを創刊することとし、それらを活用したイベント企画も含め、準備を進めています。	2023/8/15 ～ 2024/3/31	四谷事務所、南浦和資料室、オンライン	延べ25名	世界の一般市民、被爆者、学生・院生、研究者	不特定多数	
	オンライン・ミュージアム開設のためのクラウド・ファンディング・プロジェクトを通して集中的な広報活動を行いました。	7/18～ 9/17	オンライン	4名	会員、一般市民	不特定多数(支援者300名以上)	
	『ノーモア・ヒバクシャ通信』の発行。	ノーモア・ヒバクシャ通信3回発行(5/3 63号、8/9 64号、12/6 65号)	四谷事務所	延べ50名	会員、一般市民	紙媒体は毎回450-500名	
会の活動状況や原爆資料に関するニュース発行、HP開設の広報事業							422

	Web サイト、X (旧 Twitter)、Facebook によるお知らせや活動報告の発信	随時	オンライン	延べ 30 名	不特定多数	Web サイト等は不特定多数	
	当会の行っている資料収集・整理・保存、デジタル・アーカイブス構築などの主な活動を紹介するプレゼンテーション・ツール (PPT) を作成し、広報活動、プレゼンに使用しています。	5/22、ほか各地で随時	連合会館など	3 名	プレゼンテーション対象者	不特定	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】 千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
なし	なし				

令和5年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 ノーマ・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1	受取会費		2,227,000
	正会員受取会費	1,190,000	
	賛助会員受取会費	467,000	
	賛助団体会費	570,000	
2 受取寄附金			
	一般募金	2,997,016	8,062,016
	国連原爆展オンライン展開クラウドファンディング	4,874,000	
	継承センター設立募金	191,000	
3 受取助成金等			
	連合・愛のカンパ	400,000	400,000
4 事業収益			
			0
5 その他の収益			
	受取利息	11	11
経 常 収 益 計			10,689,027
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			2,497,232
	給料手当	1,779,601	
	法定福利費	324,021	
	通勤費	181,110	
	活動費	212,500	
(2) その他経費			
	業務委託費	110,570	2,883,626
	印刷製本費	21,290	
	旅費交通費	52,322	
	通信運搬費	351,388	
	消耗品費	60,703	
	水道光熱費	35,780	
	地代家賃	960,000	
	賃借料	137,372	
	広告宣伝費	484,000	
	減価償却費	321,432	
	史料保管料	95,700	
	諸会費	33,602	
	租税公課	70,000	
	支払手数料	136,324	
	雑費	13,143	
事業費計			5,380,858
2 管理費			
(1) 人件費			2,110,710
	給料手当	1,740,338	
	法定福利費	113,118	
	通勤費	77,254	
	事務局活動費	180,000	
(2) その他経費			
	印刷製本費	19,090	637,299
	会議費	55,498	
	旅費交通費	31,222	
	通信運搬費	267,348	
	消耗品費	98,286	
	広告宣伝費	16,000	
	新聞図書費	753	
	租税公課	19,100	
	支払手数料	19,884	
	管理諸費	110,000	
	雑費	118	
管理費計			2,748,009
経 常 費 用 計			8,128,867
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			2,560,160
【C】 経 常 外 収 益			
	事務所移転補償金	669,900	
経 常 外 収 益 計			669,900
【D】 経 常 外 費 用			
	棚卸資産除却損	186,124	
経 常 外 費 用 計			186,124
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			483,776
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①+②・・・③			3,043,936
	法人税、住民税及び事業税・・・④		
	前期繰越正味財産額・・・⑤		7,525,816
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③－④+⑤			10,569,752